

室内での流水実験器

小学校第5学年における「流水の働き」の単元での実験は、多くの場合、屋外で砂山等に水を流すことで行われています。

今回、不織布を利用することで、室内で容易にできる流水実験を紹介します。

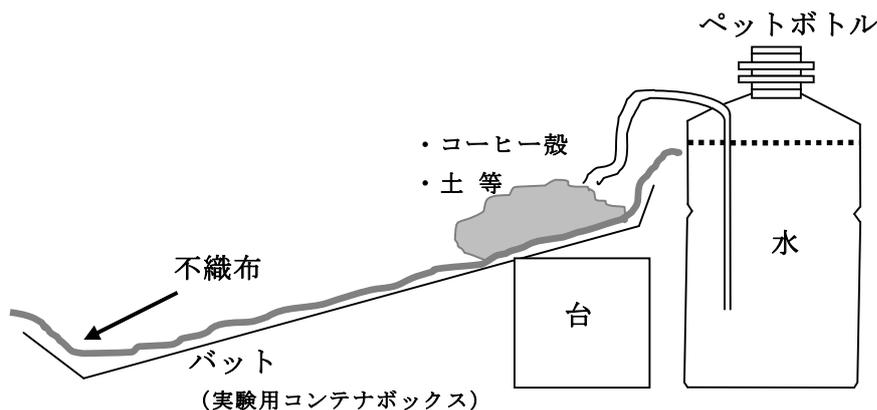
材料と準備物

- 2Lのペットボトル
 - バット（コンテナボックス）
 - 不織布
 - チューブ
 - 充填材
 - コーヒー殻、土 等
- ※ いずれも容易に入手できます。
(100円ショップ等)

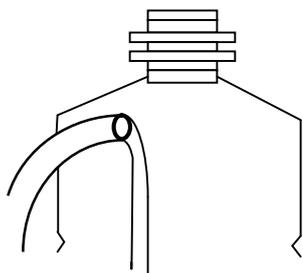


作り方

- ① 次の図のような実験装置を作製します。



- ② ペットボトルの製作



- (1) ハンダごてなどで穴をあけます。
 - (2) チューブを通します。
 - (3) 充填材で水漏れをふせぎます。
- ※ 水を流すのはサイフォンの原理を利用します。

- ③ ペットボトルに入れた水を流し、観察します。
- ・水路ができたとき、どこが削られますか。水路が曲がったときはどこが削られますか。
 - ・コーヒー殻、あるいは土の積み方はどのようになっていますか。
 - ・水量の変化、水の流れる速さの変化と水のはたらきは関係があるでしょうか。
- ④ 水を流し終わったら、不織布を折り返してコーヒー殻や土をもとにもどし、条件をかえてくりかえして実験をします。

実験指導 米原高等学校 坂本大介 先生